

夢よこすか 横須賀市議会議員 永井まさと よこすか 未来会議

NEWS LETTER vol.08

発行／2021年2月16日 発行者／永井まさと 〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居3-5-5 <http://www.yumeyokosuka.com/>

新年度予算案明らかに 厳しい財政どう対応？

よこすか未来会議を代表し 本会議で代表質問します

市長は2月15日、本会議で施政方針を述べ、新年度に向けた様々な取り組みが明らかになりました。世の中はコロナ禍で、非常事態に陥っています。市民は自粛を余儀なくされ、経済は冷え込み、収入が激減した人も少なくありません。夫の収入が減り、妻が仕事を探すために子供を預かってくれる場所探しに奔走するというケースもあります。市民や市内法人の収入が減れば、



市税収入が減ることになります。本市は今、財政の危機に直面していると言っても過言ではありません。今後も必要な市民サービスを提供し続けることのできる行政をいかにして持続させていくか、その鍵は各事業の徹底的な見直しと、市職員一人一人の意識改革をおいて他にありません。これをテーマに所属する会派よこすか未来会議を代表し、本会議で登壇します。日時は以下の通りです。議場で傍聴できます。また、ネットで中継を見ることが出来ます。

令和3年2月25日10時



政策提言はこちら

市がワクチン接種について 発表

2月15日に市はワクチン接種に向けた準備状況等の発表を行いました。それによると、集団接種会場は「横須賀アリーナ」と「さいか屋」の2箇所で、個別接種については市内病院やクリニック等の医療機関で行うとのことでした。ワクチンについては、現時点で国から情報がなく、いつ接種を始められるかは不明ですが、ワクチン入手のスケジュールが分かり次第すぐに体制が整えられるよう万全の準備をしています。

新型コロナ協議会を再開

年末年始の感染拡大を受け、市議会は新型コロナウイルス感染症対策検討協議会を再開しました。ワクチンについてや、緊急事態宣言下での学校や保育や経済への対応等について話し合われました。ここ2回の協議会はオンライン会議システムを使用したりリモート開催を生中継する形で開催。



また昨年検証を行った内容について、現在の状況を各担当部局に報告してもらう協議

会を3月3日、3月19日に開催します。いずれも10時開会で、ネット中継があります。

令和3年度予算案

2月15日の本会議にて新年度予算案および関連議案が上程されました。一般会計当初予算は1,595億円余で、前年より1.1%増となりました。財源不足額は38.5億円で過去最小ですが、人件費等の内部管理経費の削減や決算ベースの積算徹底等の方策で圧縮したとしています。市税収入は対前年比で48.8億円の大減、地方交付税は国勢調査による人口減少の影響が9億円出ています。新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、市債の借入が前年に比べて30.9%増えています。市は財源をどう捻出するかに様々な工夫を凝らしていますが、このままの傾向が続く、予算の中身、使い道の改革をしなければ、財源不足額を補うための財政調整基金等の残高が枯渇し、数年で予算を組めなくなります。市は様々な補助金や事業を抱えていますが、今こそ時代にそぐわなくなったもの、民間事業で代替できるもの、毎年やっているからという理由だけで予算がついているもの等をしっかりと精査し、私たちの税金の使い道を改めて見つめ直す最大のチャンスなのではないでしょうか。代表質問ではそうした財政の中身を提案型の議論で進めていきたいと考えています。質問の中身は、会派よこすか未来会議のマニフェスト、政策提言に沿って議員の任期を通して一貫した議論になるよう最新の注意を払って作成しています。

いただいたご意見を質問に反映

私が所属する会派「よこすか未来会議」はオンライン未来会議と銘打ち、ネットで広聴会を定期開催しています。毎回テーマを決めて話すのですが、様々なご意見を頂戴しています。一人一人が全く違ったバックグラウンドだからこそ、まちづくりの視点にも新しい発見があります。いただいたご意見は議会での発言にも参考にさせていただいています。次回のオンライン未来会議は令和3年3月25日19時からを予定しています。詳しくはよこすか未来会議HPを参照下さい。

